

授業科目名	介護の理解			履修期	2016年度 秋学期		
担当者	橋本 彩子					NO.	HS-SW-2-502
配当学科	社会福祉			年次	2		
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	30	授業形態	講義
テーマと到達目標	<p>テーマ:介護従事者として利用者の尊厳の保持、自己決定権等の重要性を知り、それを実践するために不可欠な高齢者・障害者福祉制度サービスを学ぶ。</p> <p>到達目標:  ①介護従事者として、高齢者・障害者の特性を知り、利用者の尊厳の保持、QOL(生活の質)の向上のためにできる支援を考えていく。  ②ICFの視点について理解し、ストレンクス、エンパワメント、アドボカシー機能といった用語を説明できる。  ③多職種連携(チームケア)の重要性を鑑み、ケアマネジメントの実際を考察する。  ④我が国の福祉制度及び政策の体系と高齢者や障害者への直接的なサービスの概説ができる。</p>						
概要	<p>人間が避けては通れない高齢化・障害・疾病という課題を身近に感じ、自身の生活と結びつけて学んでほしい。</p> <p>①まずは、介護従事者として、利用者の尊厳の保持・自己決定権の重要性、ICFの概念、ノーマライゼーションの概念を理解していく。さらに、我が国の高齢化の実態を把握、介護予防施策を概説する。  ②また、高齢者・障害者が「自分らしい生活」を営むために不可欠な制度・サービスについて理解し、今後の課題を考察していく。  ③社会的問題となっている「虐待」の課題に触れ、介護従事者としての心構え、リスクマネジメントについて考察する。  ④多職種が連携して利用者をサポートするチームケアの重要性やケアマネジメントの実際についてビデオ視聴を通して考察していく。</p>						
評価方法	最終試験(90%) 授業態度(10%)						
履修条件・注意事項	介護従事者としての資格取得に意欲的であること						
自己学習	適宜、講義の感想・疑問点をレポート提出し、自ら考えて、理解しながら講義に臨んでいく。毎回、予習と復習に必ず臨むことを求める。						
オフィスワ-	授業終了後						
春学期授業計画	授業方法	担当者	秋学期授業計画	授業方法	担当者		
			1. 社会福祉制度と高齢者の実態 2. 利用者の理解①(尊厳保持・自己決定権・ノーマライゼーションの概念) 3. 利用者の理解②(ICFの視点・ストレンクス・エンパワメント・セルフアドボカシー) 4. 介護予防施策についての理解 5. 介護保険制度の理解①(制度の創設) 6. 介護保険制度の理解②(サービスの種類) 7. 介護保険制度の理解③(財源) 8. 成年後見制度と日常生活自立支援事業 9. 社会福祉制度と障害者の実態 10. 障害者総合支援法の理解①(制度の創設) 11. 障害者総合支援法の理解②(サービスの種類) 12. 利用者への虐待防止・権利擁護 13. チームケア・ケアマネジメントについて 14. 介護における安全確保とリスクマネジメント 15. 今後の課題・まとめ 16. 試験	講義 講義 講義(視聴覚教材) 講義(視聴覚教材) 講義(視聴覚教材) 講義(視聴覚教材) 講義(視聴覚教材) 講義(視聴覚教材) 講義(視聴覚教材) 講義(視聴覚教材) 講義 講義 講義 講義 講義 演習 グループワーク 講義 筆記試験	橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本		
教科書 1	介護職員初任者研修テキスト 出版社:日本医療企画						
教科書 2							
参考書 1							
参考書 2							